

製品名: リピン 1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87455**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から 12 ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:10-1:100,IP 1:10-1:100
分子量	Calculated MW:99 kDa; Observed MW:130 kDa

抗原情報

遺伝子名	Lipin 1
別名	PAP1
遺伝子 ID	23175
SwissProt ID	Q14693
免疫原	ヒトリピン 1 の合成ペプチド

背景

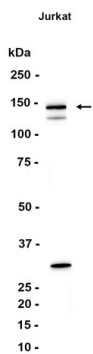
この遺伝子は、マグネシウムイオン依存性ホスファチジン酸ホスホヒドロラーゼ酵素をコードしており、トリグリセリド合成におけ

る最後から 2 番目の段階、すなわちホスファチジン酸の脱リン酸化によるジアシルグリセロールの生成を触媒します。この遺伝子の発現は脂肪細胞の分化に必須であり、また、いくつかのペルオキシソーム増殖因子活性化受容体と共に核転写共役因子として機能し、脂質代謝に関与する他の遺伝子の発現を調節します。この遺伝子の変異は、メタボリックシンドローム、2 型糖尿病、急性再発性横紋筋融解症、および常染色体劣性急性再発性ミオグロビン尿症 (ARARM) と関連しています。この遺伝子は、いくつかのヒトリポジストロフィー症候群の候補遺伝子でもあります。[RefSeq 提供、2017 年 3 月]

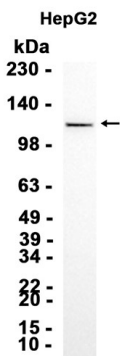
研究分野

-

画像データ



Lipin 1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した Jurkat 細胞抽出物のウェスタンプロット分析。



AMRe87455 を 1:3000 で使用して HepG2 細胞抽出物をウェスタンプロット分析しました。